一般社団法人 iCD 協会

自社の業務遂行力を客観的に評価してみませんか?

~ 貴社 iCD 診断データを基にした「フレームワーク分析」ご提供の開始 ~

一般社団法人 iCD 協会(東京都千代田区、理事長:金修)は、iCD (**1) を活用している企業が保有するタスクを主体とした診断データ(以下、「iCD 診断データ」)を提示して頂けると、それらのデータを Wings(**2)を主としたフレームワーク (**3) にマッピングし、データバーやヒートマップの手法を活用して、自社の業務遂行力の位置づけを可視化するサービス(以下、「フレームワーク分析サービス」)を、今秋から提供の予定にしていることを発表いたします。

「フレームワーク分析サービス」は、以下の2つのレポートから構成されます。

- ① 企業単位の iCD 診断データによる「自社分析」
- ② 複数企業の iCD 診断データを集約し、それを母数とした「動向分析」

[注釈]

※1 iCD i コンピテンシディクショナリの略。IPA が開発し、iCD 協会が充実を図っているタスクと

スキルの辞書。参照 URL: https://www.icda.or.jp/about-icd/

※2 Wings iCD 協会がグローバルスキル標準である SFIA とコラボレーションして構築した枠組み。

参照 URL(その1): https://www.icda.or.jp/2021/11/17/4346/ 参照 URL(その2): https://www.icda.or.jp/2022/05/09/4977/

※3 フレームワーク Wings、SFIA、ITSS など、スキル等のコンピテンシを体系化した枠組みを、iCD 協会では

フレームワークと称する。

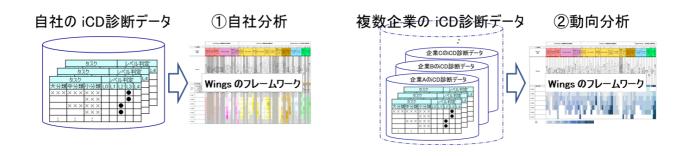
1. 「フレームワーク分析」の背景と目的

iCD を活用して頂いている各企業では、主として現状の業務および将来のビジネスを構成するタスクを明確にされたうえで、関連する各タスクの遂行をグルーピングして役割として定義され、事業運営や人材育成に効果を発揮頂いています。

一方で Wings は、iCD 協会がグローバルスキル標準である SFIA (世界で最も利用されている IT 人材の育成や評価のためのスキル標準) とコラボレーションして構築したフレームワークです。すなわち Wings は業態を超えて職種/専門分野の全体を、最新のグローバルな視点で鳥瞰できるように構成されたフレームワークといえます。

こうした自社のタスクや役割を、最新のグローバルな職種/専門分野の視点(Wings)で整理し、 他社との比較も可能にしたのが「フレームワーク分析サービス」となります。 「フレームワーク分析サービス」では、以下のレポートを提供する予定です。

- ① 自社分析 自社の iCD 診断データを Wings フレームワークにマッピングし、最新のグローバルな職種/専門分野を鳥瞰した視点にて、自社の位置づけを把握可能とする。
- ② 動向分析 当該サービスに賛同された複数企業の iCD 診断データを Wings フレームワークにマッピングして、その全体傾向の把握を可能とする。



2. フレームワーク分析サービスのイメージ

(1) 自社分析

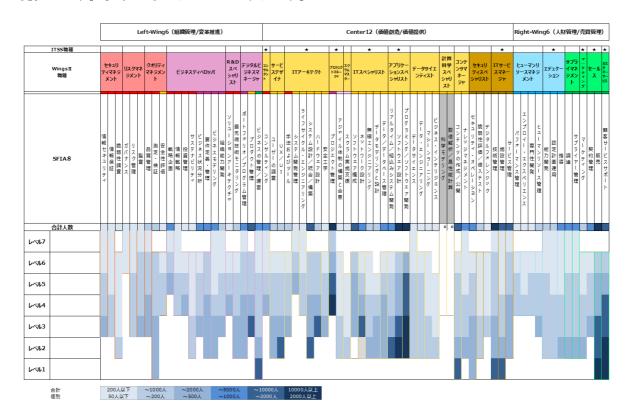
iCD活用企業より csv 形式の iCD 診断データを送付して頂き、Wings のフレームワークに マッピングしたレポート(電子版)を提供します。以下が、そのイメージになります。

			Left-Wing6(組織管理/変革推進)																	Center12(価値创造/価値提供)														Right-Wing6(人財管理/売買管理)																									
	ITSS職種	Т	_	Т	_	_	Т	_	\neg	_	_	_	_	_	_	\neg	_	Т	_	_	*		Т	_	_	*	_		*	Т	Т	_	*	_	Т	*	Т	_	_			Т	_	Т	_	Т	*	+	Т	_	_	Т	*	Т	_	*	*	t ,	*
	WingsⅡ 職種	ティ	キュリ マネ: (ント	بال	スクラメ	マネント		オリテ ネジン ト			Ľ۶	ネス	ディ	ND ₀	yβ		R& ス^ シヤ スト	י א יי	デジタ ジネ: ネー	スマ	コン サル タン ト	サースティ	Ŧ	п	Γ 7 -	+7	クト		プロジェ トマネ・ ジャ	2 70 74 77 9-	п	Γ Ζ /\	> ۲!	リスト	\ b	ブリクヨンスヤリス	7.7	デーンラ	タサ・ティス		計科スシャス	学べり	1ンテ ・ツマ ネー シャ	テ	キュ!ィス/	۲.	エザスマンジ	ネ ー			マンリ マネミ 小	, III	テュケション	- 1	ガラ イマネット	2	t-		スーニス
	SFIA8	情報セキュリティ	情報保証		スク管理							-	析	埋	スモデリング	組織能力開発	- ションアーキテクチャ	断モニタリング	.ロダクト管理	の管理/運営	ンサルティング	ユーザー の調査	Ĭ	手法およびツール	ンジニアリング	システム設計/統合/構築	ア設計	安全工学	19世 第一名第	施支援	供成	トワーク設計	エンジニアリング	38 M	・ム/組込みシステム観発	ソフトウェア設計	ング/ソフトウェア開発	データサイエンス	シーンラーニング	・インテリジェンス	科学モデリング	(性能計算	ノティリの目など 公司ナレッ ジマネジメント	ティ・オペレー ション	弱性評価/侵入テスト	ルフォレンジック 打役信号	6 世里	ピス管理理	パフォーマンス管理	・エクスペリエンス	9	1 アッリノース 言里	認定計画運用		4	ナイング	管理	版売	サービスサポート
SFIA E2-	DX DX BigData/DataScience DevOps CyberSecurity Enterprize IT Agile SoftwarEngineering	DX DS	DS Sec S	D D ec Si	S DO	S DS	DS Sec	DS DO		DX DS	OX D	DX DX	S DS	DX DS DO c Sec	EIT	DX DS DO EIT	DX DS DO Sec S	ec Se	X Di	X DX S DS DO Sec	S Sec	DX	DX EIT E	D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	X S D DC ec Se T Ell	DX DS DO Sec	Sec EIT		Sec EIT	10 (Sec EIT		DS D	O EC Sec	DO Sec	DS DO Sec EIT	32 6 0X 0 0S 0	X DX	DX			DX S DS DO Sec T BT	DS Sec	DS DO Sec	D Sec Se	O DO	X O DX	DX DS D DO	DX DO Sec EIT	Sec S EIT E	DX DS		D S4	X DX	EIT		43 C	ЭX
レベル7																					1				2				6						,,,,												2		2						2				
レベル6		1								2			l	2		1				1	1	2	2		4	1			18		4				1 1	16	10		1					3			1	,	5						2		2		2
レベル5		2								2			L	1	ı	ı		1	Ŀ	4 1	2	2	2	L	6	3	1		22		13		ı	2		18	33	L										4	8 2		1	1 1			1		1		6
レベル4		2					1							2 8	'				2	0		5	6			3			27		15			6	2	,	21		3				1	4				1	1 1		1				5		1		1
レベル3		2					1							3 12	2	1			2	0 1		8	7			12	1				22			6	2	20	15		1				2	3		,	12		,			2			2 1		2		2
レベル2														20	2					2	2	,	10			3					10			3	2	6	10		3				1 6	6		,	10	4	3			2			3				2
レベル1																				đ	5																						3	1			9												2

〈注〉数値表記のないグレーゾーンは、提示頂いた iCD 診断データからはタスク充足度が低い箇所 (=当該企業の未対応分野) を示している。

(2) 動向分析

弊協会に提示頂いた複数企業の iCD 診断データを集約して、Wings のフレームワークに マッピングし、<u>データを提示して頂いた企業全体の傾向を</u>可視化したレポート(電子版)を 提供します。以下がそのイメージになります。



3. フレームワーク分析サービスにて期待される効果

フレームワークは、業界動向や技術革新、さらには時代の趨勢等に応じて変化させて行くものになります。SFIA も数年単位で改定されるため、iCD 協会でも適宜これに対応して Wings の体系ならびにタスクの紐付けを見直し、当該サービスのベースになる Wings のフレームワークも最新の形に進化させて行きます。

その結果、各社におかれては、これまでのタスクを主体とした iCD 診断データによる情報管理を継続しながらも、Wings のフレームワークを社外との情報共有のビューのひとつとして当該サービスをご利用して頂くことにより、次のような効果が期待されると思料いたします。

- 他社との比較を通して自社の戦略を見直し、タスクや役割の定義に反映したい。
- 社外に向けては、SFIA や Wings 等のグローバルな視点のビューにて、人材活用の高度化(派 遣、調達、採用 等)を図っていきたい。
- これまでの ITSS をベースとした人材育成関連の制度を、Wings のフレームワークも加味して 見直すことで、事業環境の変化や技術の進化に対応して行きたい。

など

「フレームワーク分析サービス」は、今秋からの提供を予定しています。お申し込み方法につきましては、準備が整い次第あらためてご案内を差しあげますので、ご期待のうえお待ち頂ければ幸いです。

■一般社団法人 iCD 協会

本社所在地:〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-2-22 千代田ビル 6F

理事長:金修

設立: 2018年2月

事業概要:独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が公開した「iCD(iコンピテンシディクショナリ)」に関する調査

及び研究、普及啓発及び指導、情報の収集及び提供等

URL: https://www.icda.or.jp/

当リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 iCD 協会

担当: 広報担当

Mail: icda-info@icda.or.jp

Tel: 03-4530-6226